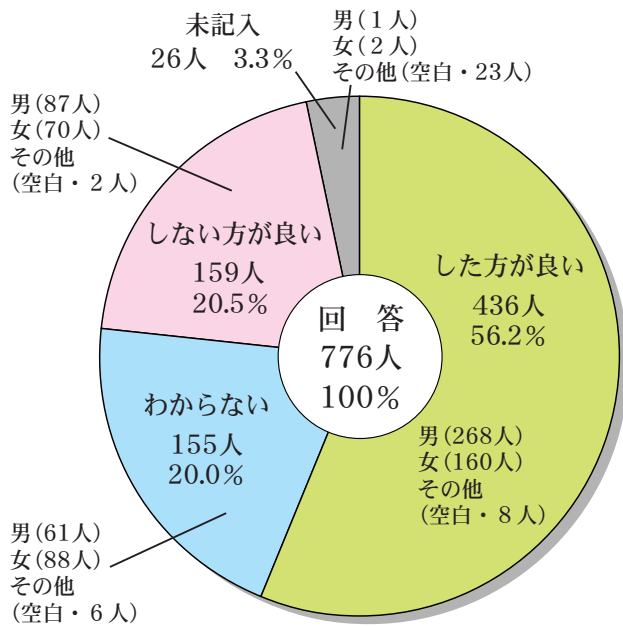


	配付枚数	回収枚数	回収率
黒崎・太田名部	202	159	78.7%
普代	410	246	60.0%
鳥居・力持	76	51	67.1%
白井・堀内	262	203	77.5%
茂市・芦渡・萩牛	112	93	83.0%
不明		24	
計	1,062	776	73.1%

市町村合併に関するアンケート調査は九月十九日、各行政連絡員にお願いし、一世帯に一枚配布。すでに各世帯へ情報提供として渡してあった「市町村合併資料」をもとに、回答を求めました。

アンケート調査には 73%の住民が回答を

合併についてどう思いますか？ —図1—



配布した枚数は一千六十二枚で、回収できた調査票は七百七十六枚の七三・一% (表A) です。

調査結果は、合併についてどう思うかの問いに、合併した方が良いと答えたのは全体の五六・二% (男二百六十九人、女百六十人、その他が七人) で、「しない方が良い」の二〇・五% (男八十七人、女七十人、その他一人) を三五・七% 上回りました (図1)。

年代別の可否

—表B—

	合併可	合併不可	わからない	空白	計
10代	1				1
20代	5	2	3		10
30代	44	16	25		85
40代	88	34	29		151
50代	123	39	31		193
60代	104	34	32	2	172
70代	57	24	26	1	108
80代	12	8	9	1	30
空白	2	1	0	23	26
計	436	158	155	27	776

年代別で見えますと「した方が良い」のトップは五十代で百二十三人、次に六十代の百四人、三番目に四十代の八十八人、「しない方が良い」では、五十代が三十九人で四十代と六十代は同数の三十四人でした (表B)。

地区別では、「合併したほうが良い」と回答したのは一位が普代の百四十九人、二位は白井・堀内の百十五人、三位に黒崎・太田名部の九十一人でした。一方、「合併しない方がいい」としたのは普代で五十三人、次に白井・堀内の三十九人、続いて黒崎・太

地区別の可否

—表C—

	合併可	合併不可	わからない	空白	計
黒崎・太田名部	91	32	36		159
普代	149	53	42	2	246
鳥居・力持	20	17	13	1	51
白井・堀内	115	39	49		203
茂市・芦渡・萩牛	60	17	15	1	93
空白	1			23	24
計	436	158	155	27	776

田名部の三十二人となっています (表C)。

合併した方が良いと回答した住民に、組み合わせを尋ねたら「野田村との二村」が四四・五%。次に「久慈市、野田村との三市村」は二〇・四%で、「久慈広域6市町村」を合併相手として希望した住民は、一八・八%でした (図2)。

男女別で見ると、一位にあげたのは男女とも野田村で、男百十一人、女八十人でした。二位には広域六市町村を男が五十七人、女は久慈市・野田村を三十三人が選んでいます。二位と三位は男と女が逆